

自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 22年 6月 22日
2階、3階共通

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	2773302175		
法人名	社会福祉法人 モアーマインド		
事業所名	グループホーム モアーマインド		
サービス種類	認知症対応型共同生活介護		
所在地	大阪市西成区天下茶屋北二丁目4番14号		
自己評価作成日	平成 22年 6月 10日	評価結果市町村受理日	平成 年 月 日

【事業所基本情報】

① 介護サービス情報の公表制度の基本情報を活用する場合	
② 情報提供票を活用する場合	

① 基本情報リンクURLを記入 ② 別紙情報提供票のとおり

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人 近畿マネジメント・サポート・センター
所在地	大阪市東住吉区山坂五丁目5番14-103号
訪問調査日	平成 22年 6月 18日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

独居の方が多いので、施設では、家庭的な暖かい気分を味わって頂ければ良いと思っています。心を込めて入居者様に接して心身ともに楽しく一日一日を過ごして頂けるような処遇に力を入れています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

ホームは新築3階建の2・3階にあり、各階の中央の廊下もゆったりと明るく、両側に個室が並び、1階は小規模多機能型ホームで、利用者のうち希望者が、デイサービスのボランティア活動に見学、参加もしている。
 日常の運営は職員14名中12名が常勤で、働き盛りの男子職員が多く、利用者に対する気配りのケアをテキパキと進めている。
 又、職員の勤続については、昨年は退職者が1名だけで、利用者との気心の知れた中で、安定した運営を続けている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
I 理念に基づく運営						
1	1	○ 理念の共有と実践 地域密着型サービスとしての意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている		職員会議は毎月1回、適宜な日に開催、幹部職員は、月1回(土曜)理念の実践への指導を実施している		
2	2	○ 事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として、日常的に交流している	地域の行事にも毎年参加し、外出時に近所の方とも挨拶をしている。	地域の行事、夏祭、盆踊り等に、希望者が参加している		
3		○ 事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や、支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	近所の高齢者が相談に来た場合は、介護の相談を受け、話し合いをしている。	/	/	
4	3	○ 運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について、報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回行っていない。	ホーム運営への応援、助言、情報交流等で介護向上に役立つので、開催に向けて直ちに取り組むことが必要		優先課題として取り組んで欲しい
5	4	○ 市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	福祉担当と相談したり、連絡を取り合っている。	区役所の所轄部署との交流は出来ている		
6	5	○ 身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて、身体拘束しないケアに取り組んでいる	マニュアルを作成し、ミーティング時に話し合い、スタッフ全員が理解できるよう取り組んでいる。	身体拘束は行っていない		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○ 虐待防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	ミーティングの際に、拘束・虐待がないよう話し合いをするよう心掛けている。		
8		○ 権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見人制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	パンフレット等で、理解・活用できるよう取り組んでいる。		
9		○ 契約に関する説明と納得 契約の締結、解約または改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	ご本人・ご家族と面談時に、十分な説明を行い、契約を行っている。		
10	6	○ 運営に関する利用者、家族等の意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員、並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情相談窓口を設けている。また御家族が来所された時に、管理者スタッフが状況を説明している。	外出の機会を増やすよう検討している	
11	7	○ 運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や、提案を聞く機会を設け、すれらを反映させている	フロアーミーティングを行い、スタッフ全員の意見を聞き、話し合っている。	職員は自由に意見を述べて、円滑なケア業務ができる環境づくりを図っている	
12		○ 就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう、職場環境・条件の整備に努めている	代表者が、職員個々の勤務状態・実績等を把握し、各職員に合った労働条件の整備に努めている。		
13		○ 職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際の力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修や勉強会を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
14		<p>○ 同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	同区内のGH管理者と情報交換を行い、質の向上に努めている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○ 初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	来所面談時、訪問面談時など状況に応じた面談の機会を作り、傾聴し対応している。		
16		<p>○ 初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	御家族様の状況を十分に把握し、不安な気持ちを受け止め、安心感が持てるよう努力している。		
17		<p>○ 初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	ご本人の要望にあったサービス希望が受けられるよう対応している。		
18		<p>○ 本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を支援される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	入居者一人ひとり尊重し、支えあう関係を築いている。		
19		<p>○ 本人と共に過ごし支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	面会時に一緒に昔の話など聞くようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
20	8	○ 馴染みの人や場との関係継続の支援	友人、知人などが気軽に来訪できるような雰囲気作りに努めている。	来訪者を歓迎している	
		本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や、場所との関係が途切れないよう、支援に努めている			
21		○ 利用者同士の関係の支援	リビングで集えるような雰囲気作りをしたり、コミュニケーションの場作りができるよう努めている。		
		利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている			
22		○ 関係を断ち切らない取り組み	御家族様との付き合いを大切にし、良い関係が築けるよう努力している。		
		サービス利用（契約）が終了しながら、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている			
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○ 思いやり意向の把握	一人ひとりの思いを把握できるようにしている。	言いたいことを、聞き出すよう職員は配慮している	
		一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している			
24		○ これまでの暮らしの把握	ご本人からの話しを中心に把握できるように努めている。		
		一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている			
25		○ 暮らしの現状の把握	毎朝のバイタルチェックや毎月の体重測定、食欲等で早期発見できるように努めている。		
		一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の、現状の把握に努めている			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○ チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題と、ケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>月1回、介護計画の見直しを行い、必要に応じて話し合いをもち、ご本人・ご家族・スタッフの意見が反映した介護計画を作成している。</p>	<p>利用者の変化は余りないが、変化があったり、薬の変更の場合には、時間をかけて話し合っている</p>	
27		<p>○ 個別の記録と実戦への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら、実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>センター方式を用い、スタッフ全員が共有した情報を持ち、介護支援できるよう努めている。</p>		
28		<p>○ 一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスにとらわれない、柔軟な支援や、サービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>受診や往診などの連携や相談、老人会などの参加ができるよう対応している。</p>		
29		<p>○ 地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら、安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>地域ボランティアなどを受けて、体操レクや音楽などを取り入れている。</p>		
30	11	<p>○ かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られた、かかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>協力医療機関、またはご本人希望の医院での定期的な受診ができるよう支援している。</p>	<p>内科医師と歯科医師の往診を受けている。又希望する医院への支援も行っている</p>	
31		<p>○ 介護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中で、とらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるよう支援している</p>	<p>主治医との連携をもち、ご家族と共に方針が決められるよう支援を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
32		<p>○ 入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	入院後も医師と相談し、退院にむけての方針を話し合い、生活が安全に行えるよう支援している。			
33	12	<p>○ 重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や、終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所で出来ることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	ホームでの看取りは行っていないため、終末期には医療機関との連携により、話し合いを持って対応できるよう支援している。	看取りは行わない方針としている		
34		<p>○ 急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は、応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	急変についての勉強会や、体制について話し合いを持つ機会を増やし、危機感を保つよう努力している。			
35	13	<p>○ 災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を、全職員が身に付けると共に、地域との協力体制を築いている</p>	当ビルの消防訓練に参加。人命尊重を最優先とした避難訓練を行う予定です。	消防署員との避難訓練は、年1回実施している。又、年2回は消火訓練を行っている		
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	14	<p>○ 一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りや、プライバシーを損ねない言葉かけや、対応をしている</p>	プライバシーに関する内容は必ずスタッフルームで話すようにし、一人ひとりを尊重した声掛けをするよう促している。	プライバシーの尊厳については特に留意するように心掛け、特に、言葉かけについては、職員同士で注意し合っている		
37		<p>○ 利用者の希望の表出や、自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が、思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	ご本人の思いが表現しやすい雰囲気作りや一人ひとりに合わせた説明方法を用い、理解し、自己決定できるよう支援を行っている。			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
38		○ 日々のその人らしい暮らし	一人ひとりに合わせた生活が行えるよう努めている。	/	/
		職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望に沿って支援している			
39		○ 身だしなみやおしゃれの支援	希望時、理髪店に同行し、外出時の身だしなみが行えるよう声掛けを行っている。	/	/
		その人らしい身だしなみや、おしゃれが出来るように支援している			
40	15	○ 食事を楽しむことのできる支援	メニューに季節感を取り入れたり、楽しく食事ができるよう支援、片付けや準備などできることはやってもらえるよう支援している。	高齢者用メニューを利用し、体重管理も行っている	/
		食事が楽しみになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている			
41		○ 栄養摂取や水分確保の支援	個別に量を調節するとともに、食べにくい時は調理法を工夫するようにしている。	/	/
		食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている			
42		○ 口腔内の清潔保持	食後のうがいや、義歯洗浄の声掛け、援助を行っている	/	/
		口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や、本人の力に応じた口腔ケアをしている			
43	16	○ 排泄の自立支援	排泄パターンに合わせた声掛けを行うと共に、自立に向けた支援を行っている。またできるかぎり、プライバシーを守ったパット交換などを行っている。	排泄管理表に従い、一人ひとりを誘導している	/
		排泄の失敗や、おむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や、排泄の自立に向けた支援を行っている			
44		○ 便秘の予防と対応	水分補給を十分に行い、排便チェックし、受診時に相談できるようにしている	/	/
		便秘の原因や、及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように、職員の都合で、曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	週2～3回、曜日は男女別で決めているが、時間帯や体調に合わせて、ご本人の希望に合わせている	入浴は、本人の希望に出来るだけ合わせるよう配慮している	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣や、その時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	不眠時はゆっくり話を聞くなど、安心して眠れるよう支援している。また日中は食後の休憩がとれるよう支援している		
47		○服薬支援 一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と、症状の変化の確認に努めている	サービス提供票・薬箋などで、個別に薬などについて十分理解した上で、確認をして投与できるよう支援している		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や、力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	外出時は、一人ひとりの希望に合わせて楽しんで頂けるよう努力している		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	希望時と定期的な声かけを行い、閉じこもりがちな方も曜日を決めて散歩に心掛けている	出来るだけ散歩の機会を増やすよう検討している	
50		○お金の所持や、使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり、使えるように支援している	自己管理している入居者には、自由にお金を使えるように、買い物時に支援している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○ 電話や手紙の支援 家族や大切な人に、本人自らが電話をしたり、手紙のやりとりができるように支援している	電話・手紙のやりとりは、本人の希望で、いつでもできるようにしている		
52	19	○ 居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な混乱を招くような刺激(音、光、色、広さ、温度など)が無いように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地良く過ごせるような工夫をしている	清掃は毎日行い、リビングには集える雰囲気のある装飾品を季節ごとに用意している	リビングは明るく居心地の良いように配慮されており、静かで落ち着いた雰囲気となっている	
53		○ 共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で、思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングでテレビを見たり、喫煙場所・テーブル席などで自由に過ごせるように配慮している		
54	20	○ 居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや、好みのものを活かして、本人が居心地良く過ごせるような工夫をしている	居室には馴染みの物を置くスペースを確保し、本人が慣れた場所に収納できるように配慮している。居心地良く過ごせるように工夫している	室内の清掃は職員と共同で行い、居室内では日常、自由に行っているが、簡素な感じで過ごしている	
55		○ 一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつ、できるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ベットの柵やトイレ、浴室の廊下の手すりを設置し、安全に自立した生活が送れるように努めている		

V アウトカム項目			
56	職員は利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる		① ほぼ全ての利用者の
			② 利用者の2/3くらいの
		○	③ 利用者の1/3くらいの
			④ ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある		① 毎日ある
			② 数日に1回程度ある
		○	③ たまにある
			④ ほとんどない
58	利用者は一人ひとりのペースで暮らしている	○	① ほぼ全ての利用者が
			② 利用者の2/3くらいが
			③ 利用者の1/3くらいが
			④ ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	① ほぼ全ての利用者が
			② 利用者の2/3くらいが
			③ 利用者の1/3くらいが
			④ ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	① ほぼ全ての利用者が
			② 利用者の2/3くらいが
			③ 利用者の1/3くらいが
			④ ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	① ほぼ全ての利用者が
			② 利用者の2/3くらいが
			③ 利用者の1/3くらいが
			④ ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	① ほぼ全ての利用者が
			② 利用者の2/3くらいが
			③ 利用者の1/3くらいが
			④ ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聞いており、信頼関係ができています	○	① ほぼ全ての家族と
			② 家族の2/3くらいと
			③ 家族の1/3くらいと
			④ ほとんどいない
64	通いの場やグループホームに、馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている		① ほぼ毎日のように
			② 数日に1回程度
		○	③ たまに
			④ ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている		① 大いに増えている
		○	② 少しずつ増えている
			③ あまり増えていない
			④ 全くない
66	職員は生き活きと働けている		① ほぼ全ての職員が
		○	② 職員の2/3くらいが
			③ 職員の1/3くらいが
			④ ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスに、おおむね満足していると思う	○	① ほぼ全ての利用者が
			② 利用者の2/3くらいが
			③ 利用者の1/3くらいが
			④ ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスに、おおむね満足していると思う	○	① ほぼ全ての家族が
			② 家族の2/3くらいが
			③ 家族の1/3くらいが
			④ ほとんどいない